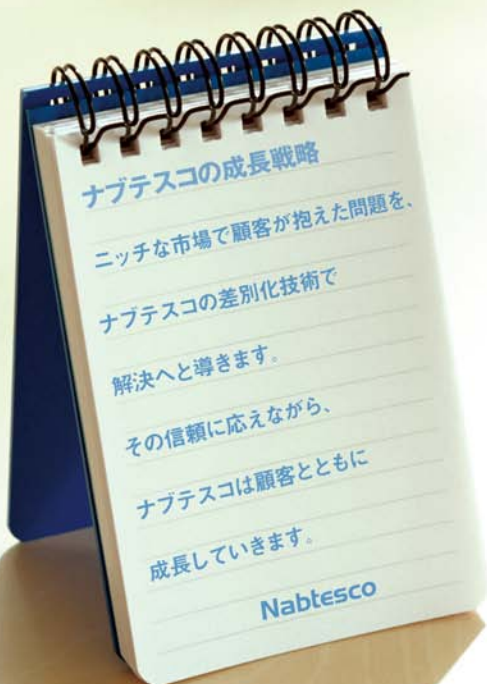


第5期 株主通信

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで



株主・投資家の皆様へ



■ 企業理念

ナブテスコは、独創的なモーションコントロール技術で、移動・生活空間に安全・安心・快適を提供します。

■ ナブテスコの約束

1. 世界のお客さまとの親密なコミュニケーションを大切にします。
2. 一人ひとりのチャレンジ精神と変革意識を大切にします。
3. 利益ある成長を続けます。
4. 高い透明性と倫理観を持ち続けます。
5. 地球環境に配慮し、地域・文化との調和を図ります。

■ 長期ビジョン(2015年3月期の姿)

社会とともに成長するグローバル企業集団

～ 挑戦、創造、そして飛躍へ～

問題解決を行うプロフェッショナル集団となる

一人ひとりが、チャレンジ精神に富み、業界トップレベルの人材となる社員全員が誇りと満足感を持って仕事をしている

スピーディでフレキシブルな組織風土を持つ

事業環境の変化に即応した決断と行動ができる
豊かな発想をすぐに行動へ移すことができる

**独自のモーションコントロールをコア技術とし、
システムインテグレーション能力により、商品を提供する**
顧客のニーズを先取りし、新技術の開発や固有技術の深化によって、
新商品を創出し続ける

2015年3月期経営目標の引上げ

売上高 2,200億円
営業利益 330億円

旧目標

売上高 2,600億円
営業利益 360億円

新目標

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。2008年3月期の連結業績といたしましては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益において過去最高を更新いたしました。

売上・利益とも着実な成長を遂げることができました。

2008年3月期は原材料費の値上がり等のマイナス要因があったものの、新興国を中心とした建設機械需要の伸長、産業用ロボットの回復等により、売上・利益ともに目標を上回る着実な成長を遂げることができました。

2009年3月期は、次のステップへの体質改善を図り、企業価値を高めていきます。

2009年3月期は戦略的な成長投資とともに、原材料の高騰・為替相場の変動を考慮すると収益的には厳しくなる見込みですが、長期ビジョン目標の達成に向けた永続的な企業価値増大を目指すステップであると捉えています。長期ビジョンの2015年3月期の目標値を売上高2,600億円、営業利益360億円に新たに引上げました。

新中期経営計画「Global Challenge 2010」を策定しました。

当社の主なお客様も新興国を中心とした海外市場に焦点を当てております。お客様の問題を解決して共に成長していくために、当社もより一層のグローバル化を推進していきます。グローバルに展開していくことが、成長と収益につながっていく、そういった意味を含め、この度新中期経営計画「Global Challenge 2010」を策定いたしました。戦略的な成長投資、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮した企業収益の適正な配分を基本とし、新中期経営計画最終年度(2011年3月期)に連結ベース配当性向30%を目指してまいります。

2008年3月期の業績ハイライト

①売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、

過去最高を更新

②売上高	1614億円	→	1742 億円	7.9%増
営業利益	164億円	→	194 億円	18.3%増
経常利益	168億円	→	200 億円	18.9%増
当期純利益	97億円	→	110 億円	12.7%増

③増収・増益により、一株当たり年間配当金**16**円



平成20年6月

代表取締役社長

松本和幸

■ 特集：新中期経営計画基本方針「*Global Challenge 2010*」

前中期経営計画(2005～2007年度)はおおむね目標を達成することができました。2014年度に向けた「長期ビジョン」達成のためのセカンドステップとなる、今後3年間の新中期経営計画「*Global Challenge 2010*」(2008～2010年度)を策定し、さらなる成長性・収益性を追求してまいります。

新中期経営計画「Global Challenge 2010」では、新興国に対する建設機械向け油圧機器の生産能力増強や風力発電用機器の事業拡充、精密減速機技術をコアとした新製品開発、鉄道車両機器の海外展開など、成長著しい事業分野を中心に今後3年間で300億円の設備投資、140億円の研究開発費を投じ、グローバル市場での事業強化を図ります。

新中期経営計画基本方針

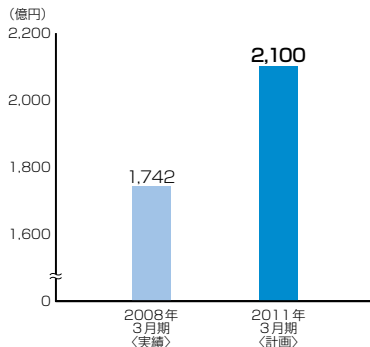
「*Global Challenge 2010*」

～グローバル市場でさらなる飛躍へ～

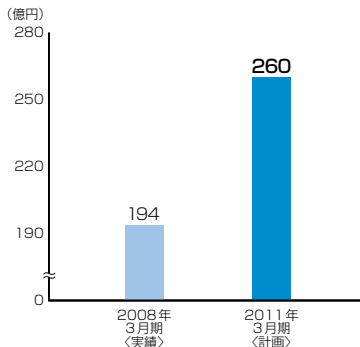
グローバル成長市場での事業強化と、
全ステークホルダーを重視した企業経営により、
永続的な企業価値増大を目指す。

計数計画：概要

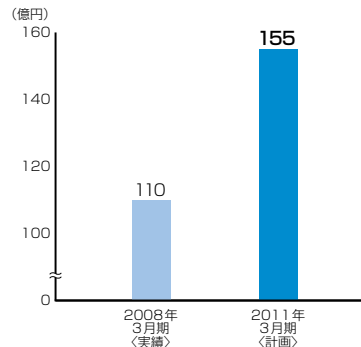
【売上高】



【営業利益】



【当期純利益】



基本方針
1

さらなる成長性・収益性の追求

- アジアを中心とした海外売上拡大、海外事業展開の強化
- 技術優位性の強化・確立と、次世代技術イノベーションの追求
- 事業拡充、シナジー効果を目的とした企業提携・M&Aの推進
- 少子高齢化を見据えた国内生産性の向上と海外生産の推進
- 人材力における質と量の強化

基本方針
2

ROA・ROEを意識した経営の推進

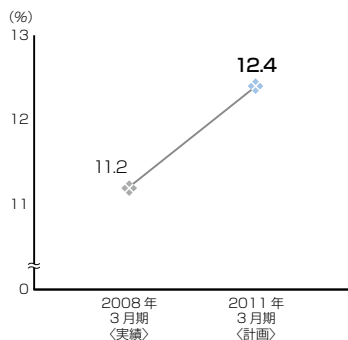
- 資源の効率活用と利益ある成長を両立させた事業戦略の推進(ROAの向上)
- 成長投資、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮した企業収益の適正配分(ROEの向上)

基本方針
3

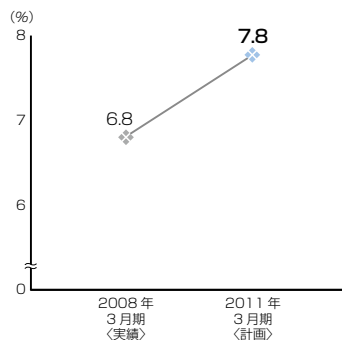
企業風土の革新

- プライド、夢、高い倫理観・学習意欲・CSR意識を持ち、最高の生産性・品質を実現するとともに、さらなる成長を追求する環境・風土の構築
- 省エネルギー、環境保全に寄与する製品開発と事業運営の推進

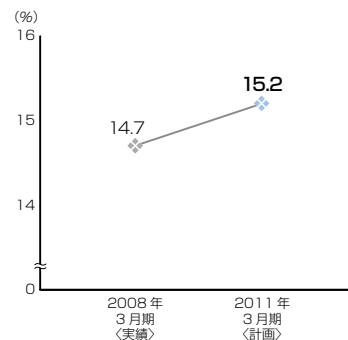
【営業利益率】



【ROA】(総資産利益率)



【ROE】(自己資本利益率)



三菱重工業株式会社リージョナルジェット機(MRJ)向け 『フライト・コントロール・アクチュエーション・システム』を受注!

航空機の飛行姿勢を制御するフライト・コントロール・アクチュエーション・システムの世界有数のメーカーである当社は、新たな展開として、次世代のリージョナルジェット機MRJ (Mitsubishi Regional Jet) 向け飛行制御システムの重要構成部品である『フライト・コントロール・アクチュエーション・システム』を受注しました。

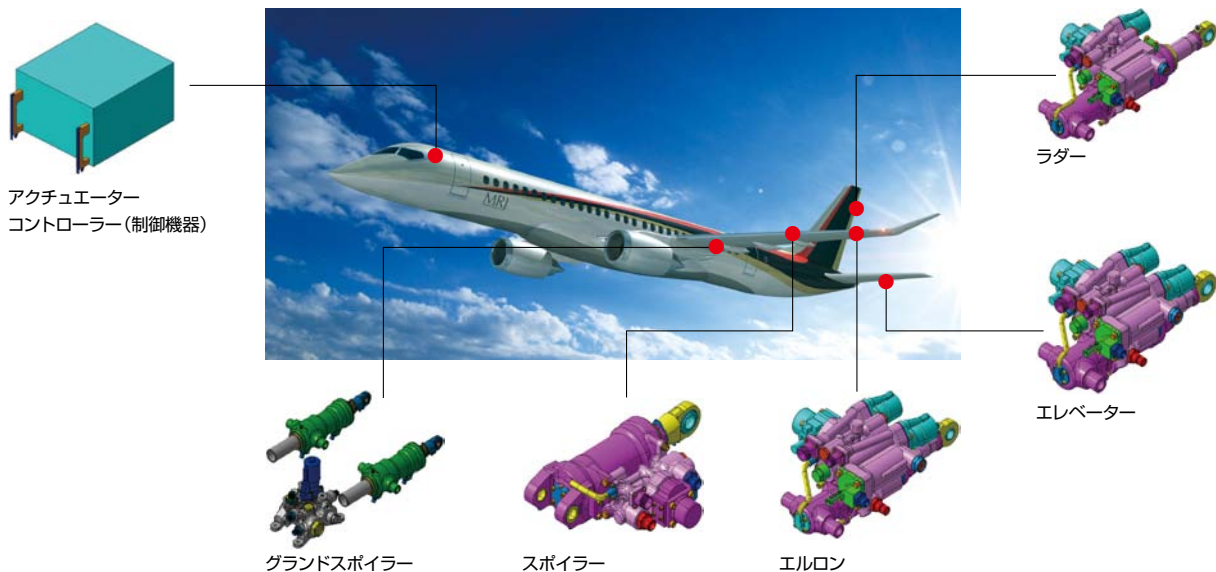
今回受注した製品は、飛行制御に重要な役割を担う主翼／尾翼／水平尾翼の可動翼であるエルロン／スポイラー／ラダー／エレベーターを駆動するアクチュエーター及び制御機器です。

アクチュエーターの制御方式は、最新技術を取り入れたフライ・バイ・ワイヤー方式で極めて信頼性の高い制御方式を採用しています。

今後、システム開発を経て2012年より量産製品の納入を開始する予定です。

今後も当社は長年にわたり培われた技術と質の高いサービス提供を生かし、新たな顧客ニーズに対応してまいります。

【MRJとエルロン／スポイラー／ラダー／エレベーター／制御機器の配置図】



当社は建設機械用油圧ショベルの需要拡大に対応するため、 油圧機器の生産体制を強化します！

当社は、新興国を中心に拡大する油圧ショベルの世界需要に対応するため、建設機械向け油圧機器事業の生産拠点の能力強化を図りました。

現在は、日本の2工場（垂井、西神）と中国（上海）の3工場体制ですが、4つめの生産拠点とするべく、「Nabtesco Power Control (Thailand) Co., Ltd.」をタイ国に設立しました。

さらに中国における生産拠点であります上海納博特斯克液圧

有限公司においては2010年までに生産能力を現在より20%増強するべく08年度中に15～20億円の設備投資を行います。

これら油圧機器国内外4工場での生産体制を構築することにより、安定的な製品供給を目指してまいります。



走行モーター

【上海納博特斯克液圧有限公司】

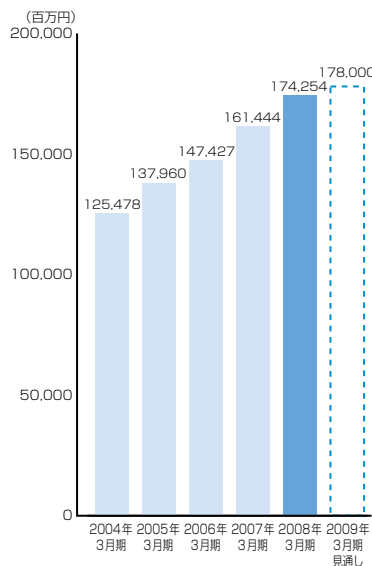


連結決算の概要

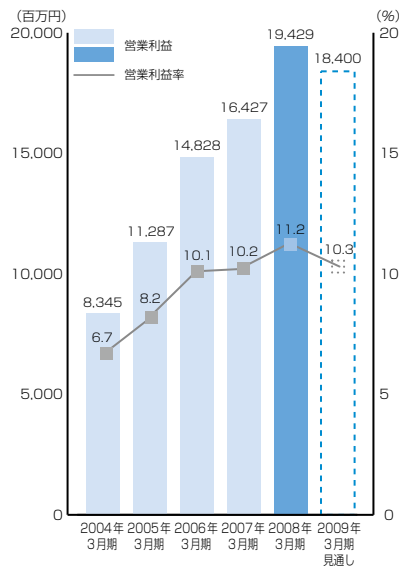
当社グループは、中期経営計画最終年度の目標達成に向けて、国内外での市場の開拓、新商品の上市等を積極的に行ってまいりました。さらに、油圧機器事業及び精密機器事業における設備投資による能力アップをはじめ、各工場でも生産ラインの改善、生産性向上を推進してまいりました。この結果、当期の連結業績は、売上高は前期比7.9%増加の1,742億円、営業利益は同18.3%増加の194億円、経常利益は同18.9%増加の200億円、当期純利益は同12.7%増加の110億円となりました。また、中期経営計画の数値目標に対し、ROA、ROE並びに3カ年の累計フリー・キャッシュ・フローについては未達となりましたが、売上高及び利益額については達成しました。

今後の世界経済の情勢につきましては、サブプライムローン問題に端を発する信用不安に伴い米国経済は減速傾向が明らかになっており、その影響は日本、欧州等の先進国へも波及しております。一方で、BRICsに代表される新興国、中東産油国では引き続き堅調な成長が見込まれ、国内企業もそれらの諸国への輸出が増加するものの、世界的な原材料費高騰や為替相場の変動などの不安定要因もあり、予断を許さない状況が続くものと予想されます。当社グループを取巻く経営環境は、油圧モーターの主要ユーザーである建設機械業界において、新興国市場での需要が引き続き伸長が期待されるものの、産業用ロボットの主要ユーザーである自動車業界の設備投資に若干の懸念材料が見られます。また成長に向けての投資とともに原材料の高騰、為替相場の変動などが利益に影響を与える可能性があります。

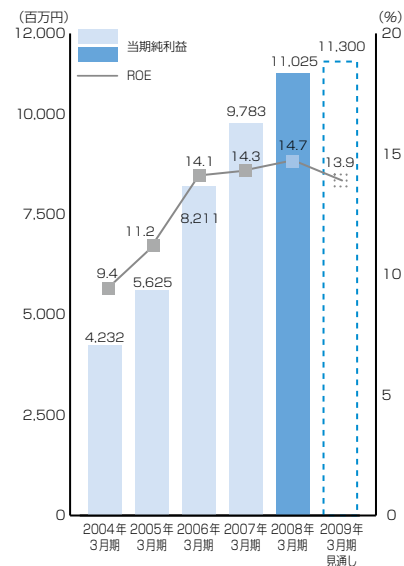
【売上高】



【営業利益・営業利益率】



【当期純利益・ROE】



精密機器事業

精密機器事業の売上高は前期比11.4%増加の329億円、営業利益は同32.2%増加の46億円となりました。

精密減速機は、主力の産業用ロボット向けにおいて、自動車業界の設備投資が調整期を脱し、成長基調に転じ、工作機械向けも堅調に推移したため、売上が増加しました。



輸送用機器事業

輸送用機器事業の売上高は前期比7.1%増加の489億円、営業利益は同10.3%増加の60億円となりました。鉄道車両関連機器は、海外市場において中国の高速鉄道向けの納入が一段落したものの、国内市場では、N700系新幹線の車両生産が本格化し、JR・民営鉄道各社の車両更新も活発に行われたことから、売上が増加しました。

自動車関連機器は、国内の普通トラックは、排ガス規制による新車需要が収束し、さらに、燃料価格高騰の影響を受け、需要は減少傾向にあります。海外生産、輸出車向けが増加しており、前期並みの売上を確保することができました。



船用エンジン制御システムについては、全世界の新造船建造隻数が史上最高を更新し、売上が増加しました。

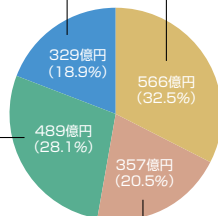
航空・油圧機器事業

航空・油圧機器事業の売上高は前期比13.3%増加の566億円、営業利益は同31.8%増加の45億円となりました。

油圧機器は、油圧ショベルの世界需要の拡大が続き、走行モーターの売上が大幅に増加しました。また、風力発電機用駆動装置が世界的なクリーンエネルギーに対する関心の高まりから市場規模が拡大したことにより、その売上を伸ばしております。



航空機器は、中東・アジア地域における民間航空業界が好調に推移するとともに、低燃費タイプの機体への代替需要に伴う航空機の生産機数増加及びアフターマーケットの需要増により、売上が増加しました。



セグメント別売上高
及び構成比率
(単位:億円、未満切捨て)

産業用機器事業

産業用機器事業の売上高は前期比1.3%減少の357億円、営業利益は同5.0%増加の41億円となりました。

自動ドア関連分野では、汎用自動ドアが前期に比べほぼ横ばいとなる一方でユニット型商品(扉、サッシ等を含む開口部一式商品)が伸長するとともに、鉄道用プラットフォームドアも海外向けが好調に推移し、売上が増加しました。

包装機械は、主力の食品向けが欧州での売上を伸ばしました。しかしながら、子会社株式の譲渡により、産業用機器事業全体での売上高は減少しました。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円、未満切捨て)

	前期 H19.3.31現在	当期 H20.3.31現在	増減額
【資産の部】			
流動資産	95,625	99,237	3,611
現金及び預金.....	26,534	11,131	△15,402
受取手形及び売掛金.....	47,249	46,641	△607
有価証券.....	—	19,000	19,000
たな卸資産.....	18,087	18,421	333
その他.....	3,753	4,042	288
固定資産	67,597	64,079	△3,518
有形固定資産.....	43,610	43,346	△264
建物及び構築物.....	16,383	15,712	△670
機械装置及び運搬具.....	9,475	9,624	148
土地.....	14,477	14,472	△5
その他.....	3,273	3,535	262
無形固定資産.....	1,074	1,382	307
投資その他の資産.....	22,912	19,350	△3,562
投資有価証券.....	21,086	16,674	△4,412
その他.....	1,826	2,676	850
資産合計	163,223	163,317	93

(単位:百万円、未満切捨て)

	前期 H19.3.31現在	当期 H20.3.31現在	増減額
【負債の部】			
流動負債	57,098	58,182	1,084
支払手形及び買掛金.....	29,452	31,462	2,009
短期借入金.....	12,437	9,110	△3,327
一年内返済予定の長期借入金.....	484	3,004	2,519
その他.....	14,723	14,605	△117
固定負債	29,015	22,642	△6,372
社債.....	11,000	11,000	—
長期借入金.....	3,004	—	△3,004
退職給付引当金.....	11,489	10,504	△984
その他.....	3,521	1,137	△2,384
(負債合計)	86,113	80,824	△5,288
【純資産の部】			
株主資本	65,679	74,777	9,098
資本金.....	10,000	10,000	—
資本剰余金.....	17,583	17,500	△82
利益剰余金.....	38,304	47,412	9,107
自己株式.....	△209	△135	73
評価・換算差額等	7,374	2,642	△4,731
その他有価証券評価差額金...	7,498	2,189	△5,308
繰延ヘッジ損益.....	—	6	6
為替換算調整勘定.....	△124	446	570
少数株主持分	4,056	5,071	1,015
(純資産合計)	77,109	82,492	5,382
負債・純資産合計	163,223	163,317	93

連結損益計算書

(単位:百万円、未満切捨て)

	前期 (H18.4.1~H19.3.31)	当期 (H19.4.1~H20.3.31)	増減額
売上高	161,444	174,254	12,809
売上原価	123,639	132,641	9,001
売上総利益	37,804	41,612	3,807
販売費及び一般管理費	21,377	22,182	805
営業利益	16,427	19,429	3,001
営業外収益	1,138	1,827	689
営業外費用	696	1,196	499
経常利益	16,869	20,061	3,192
特別利益	254	130	△124
特別損失	432	1,758	1,325
税金等調整前当期純利益	16,691	18,432	1,741
法人税、住民税及び事業税	5,433	5,871	438
法人税等調整額	782	498	△284
少数株主利益	691	1,037	346
当期純利益	9,783	11,025	1,241

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、未満切捨て)

	前期 (H18.4.1~H19.3.31)	当期 (H19.4.1~H20.3.31)	増減額
I 営業活動による キャッシュ・フロー	8,293	18,249	9,955
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△6,941	△8,969	△2,027
III 財務活動による キャッシュ・フロー	6,134	△5,748	△11,882
IV 現金及び現金同等物に 係る換算差額	205	1	△203
V 現金及び現金同等物の 増加額	7,692	3,533	△4,158
VI 現金及び現金同等物の 期首残高	18,496	26,188	7,692
VII 現金及び現金同等物の 期末残高	26,188	29,722	3,533

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円、未満切捨て)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
H19.4.1~H20.3.31											
平成19年3月31日残高	10,000	17,583	38,304	△209	65,679	7,498	—	△124	7,374	4,056	77,109
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△1,905		△1,905						△1,905
当期純利益			11,025		11,025						11,025
自己株式の取得				△196	△196						△196
自己株式の処分		△82		269	187						187
在外子会社法定基金繰入額			△11		△11						△11
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					—	△5,308	6	570	△4,731	1,015	△3,716
連結会計年度中の変動額合計	—	△82	9,107	73	9,098	△5,308	6	570	△4,731	1,015	5,382
平成20年3月31日残高	10,000	17,500	47,412	△135	74,777	2,189	6	446	2,642	5,071	82,492

F I N A N C I A L S T A T E M E N T S

個別財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円、未満切捨て)

	前期 H19.3.31現在	当期 H20.3.31現在	増減額
【資産の部】			
流動資産	77,469	78,172	703
現金及び預金.....	21,812	4,319	△17,493
受取手形及び売掛金.....	38,778	38,709	△69
有価証券.....	—	19,000	19,000
たな卸資産.....	12,694	12,349	△345
その他.....	4,183	3,794	△389
固定資産	62,145	58,512	△3,632
有形固定資産.....	35,415	34,823	△592
建物及び構築物.....	13,838	13,417	△421
機械装置及び運搬具.....	7,798	7,483	△314
土地.....	11,078	11,078	—
その他.....	2,699	2,843	144
無形固定資産.....	883	1,154	270
投資その他の資産.....	25,846	22,535	△3,310
投資有価証券.....	18,307	13,149	△5,158
関係会社株式及び出資金...	6,757	7,306	549
その他.....	781	2,079	1,298
資産合計	139,615	136,685	△2,929
【負債の部】			
流動負債	51,953	53,163	1,209
支払手形及び買掛金.....	25,012	26,858	1,846
短期借入金.....	11,620	8,300	△3,320
一年内返済予定の長期借入金.....	410	3,000	2,590
その他.....	14,911	15,004	93
固定負債	27,070	21,356	△5,713
社債.....	11,000	11,000	—
長期借入金.....	3,000	—	△3,000
退職給付引当金.....	10,409	9,403	△1,005
その他.....	2,661	953	△1,707
(負債合計)	79,024	74,520	△4,503

(単位:百万円、未満切捨て)

	前期 H19.3.31現在	当期 H20.3.31現在	増減額
【純資産の部】			
株主資本	55,394	62,247	6,853
資本金.....	10,000	10,000	—
資本剰余金.....	29,620	29,537	△82
利益剰余金.....	15,977	22,840	6,862
利益準備金.....	1,076	1,076	—
その他利益剰余金.....	14,900	21,763	6,862
自己株式.....	△203	△130	73
評価・換算差額等	5,197	△82	△5,279
その他有価証券評価差額金...	5,197	△89	△5,286
繰延ヘッジ損益.....	—	6	6
(純資産合計)	60,591	62,165	1,574
負債・純資産合計	139,615	136,685	△2,929

損益計算書

(単位:百万円、未満切捨て)

	前期 (H18.4.1~H19.3.31)	当期 (H19.4.1~H20.3.31)	増減額
売上高	121,607	132,796	11,189
売上原価.....	97,832	106,539	8,706
売上総利益	23,774	26,256	2,482
販売費及び一般管理費.....	12,242	13,021	779
営業利益	11,532	13,235	1,702
営業外収益.....	1,177	1,474	296
営業外費用.....	494	1,080	586
経常利益	12,215	13,628	1,413
特別利益.....	104	692	587
特別損失.....	299	1,187	888
税引前当期純利益	12,020	13,133	1,112
法人税、住民税及び事業税.....	3,814	3,982	168
法人税等調整額.....	1,128	382	△745
当期純利益	7,078	8,768	1,690

 会社情報

会社概要

会 社 名：ナプテスコ株式会社

設 立：2003年9月29日

所 在 地：東京都港区海岸一丁目9番18号

資 本 金：100億円

従 業 員 数：単体 2,176人

連結 3,884人

連結子会社：国内15社(他持分法適用会社6社)

海外17社(他持分法適用会社2社)

役員構成 (2008年6月24日現在)

取締役会

代表取締役社長 松 本 和 幸

代表取締役専務取締役 児 山 立 平

常務取締役 佐 和 博

常務取締役 松 田 保

常務取締役 坪 内 繁 樹

常務取締役 井 上 陽 一

取 締 役 三 代 洋 右

取 締 役 今 村 雄 二 郎

取 締 役 青 井 博 之

取 締 役 (社 外) 川 田 豊 (非常勤)

監査役会

監 査 役 野 上 達 夫

監 査 役 中 村 秀 一

監査役(社外) 石 丸 哲 也 (非常勤)

監査役(社外) 山 田 正 彦 (非常勤)

監査役(社外) 三 谷 紘 (非常勤)

業務執行体制

最高経営責任者 松 本 和 幸

専務執行役員 児 山 立 平 (鉄道カンパニー社長)

常務執行役員 佐 和 博 (パワーコントロールカンパニー社長)

常務執行役員 松 田 保 (企画本部長兼総務・人事本部長)

常務執行役員 坪 内 繁 樹 (精機カンパニー社長)

常務執行役員 井 上 陽 一 (技術本部長)

執行役員 片 多 博 (航空宇宙カンパニー社長)

執行役員 今 村 正 夫 (船用カンパニー社長)

執行役員 野 村 信 一 (東洋自動機(株)代表取締役社長)

執行役員 三 代 洋 右 (企画本部副本部長兼企画部長)

執行役員 今 村 雄 二 郎 (ナプコカンパニー社長)

執行役員 坂 元 一 則 (ナプテスコサービス(株)代表取締役社長)

執行役員 瀬 川 卓 真 (自動車カンパニー社長)

執行役員 青 井 博 之 (コンプライアンス本部長兼法務部長兼コンプライアンス推進部長)

執行役員 古 田 博 美 (自動車カンパニー副社長兼計画部長)

執行役員 横 山 雄 二 (ナプコドア(株)代表取締役社長)

執行役員 橋 本 正 孝 (技術本部開発企画部長)

執行役員 坂 本 勉 (鉄道カンパニー計画部長)

執行役員 上 岡 忠 志 (パワーコントロールカンパニー生産統括部長)

株式関連情報及び配当金に関するお知らせ

株式関連情報

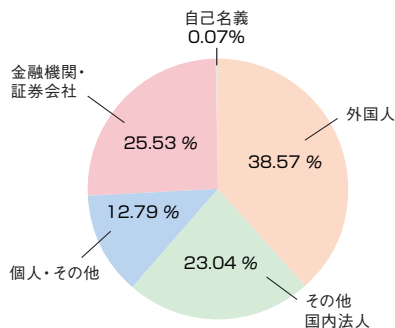
【株式の状況】

発行済株式の総数:127,212,607株 / 株主数:8,405名

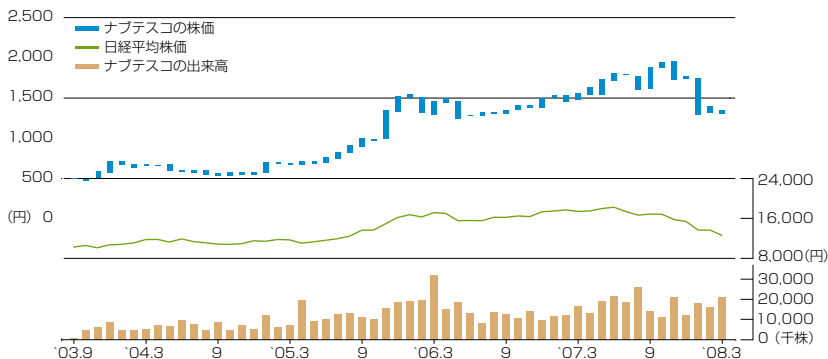
【大株主】(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	議決権 比率
株式会社神戸製鋼所	15,100	12.02%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,841	6.24%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,240	5.76%
帝人株式会社	6,935	5.52%
タイヨウ ファンド・エル・ピー	6,577	5.23%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	4,417	3.52%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・株式会社神戸製鋼所口)	4,011	3.19%
株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ	3,265	2.60%
ユービーエス エージー ロンドン アカウト アイピービー	2,854	2.27%
セグリゲイテッド クライアント アカウト	2,854	2.27%
モルガン・スタンレーアンドカンパニーインク	1,927	1.53%

【所有者別株式数比率】



【株価・出来高(東京証券取引所)】

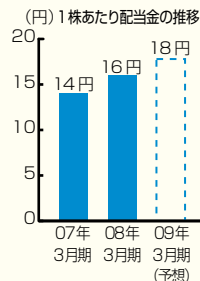


配当のお知らせ

【利益還元方針および配当金】

当期末の配当金は1株あたり8円といたします。なお中間配当金を含めました当期の配当金は、前期に比べ1株あたり2円増配の16円となります。

当社は、当社グループ全体の業績をベースに、戦略的な成長投資、財務健全性の確保、株主還元バランスを考慮した企業収益の適正な配分を図ってまいります。



配当金振込制度のご利用について

株主様ご所有の株式に対する配当金（中間配当金を含む）をご指定の預貯金口座へ直接ご入金する制度がございます。この制度で、一度配当金の振込み先をご指定いただきますと、今後の配当金はご指定の口座へ自動的に振込みいたします。確実に配当金をお受取りいただけますので、振込口座をご指定いただいていない株主様につきましては、是非この配当金振込制度をご利用されることをおすすめいたします。配当金振込制度をご利用される場合は、同封の「配当金振込指定書」に必要事項をご記入、お届出印を押印のうえ、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

単元未満株式の買増及び買取請求について

株主様ご所有の株式のうち、単元未満株式（1,000株未満の株式）につきましては、市場で売買することはできませんが、次のいずれかを利用して、整理していただくことができます。

①単元未満株式買増請求制度

単元株式（1,000株）にまとめるため、当社に対して、単元株式数に不足する数の当社株式の買増しを請求することができます。

②単元未満株式買取請求制度

当社に対して、ご所有の単元未満株式の市場価格による買取りを請求することができます。

株券電子化について

2009年1月に株券が電子化される予定となっております。所有者ご本人の名義に変更されていない株券は、速やかに名義変更手続きを行ってください。（株券電子化の詳細については、金融庁ホームページ等をご参照ください。）

また、お早めに証券会社を通じて、株券保管振替制度を利用されることをおすすめいたします。

配当金振込指定、単元未満株式買取請求、住所変更及び名義書換請求については、株主名簿管理人の中央三井信託銀行にご連絡の上、お手続きください。

証券代行事務センター

 **0120-78-2031**

受付時間平日9:00～17:00

用紙請求専用フリーダイヤル

 **0120-87-2031**

24時間受付・自動音声案内

Nabtesco Corporation

【株主メモ】

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会：毎年6月
基準日：定時株主総会、期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

単元株式数：1,000株

公告方法：電子公告(当社ウェブサイトをご覧ください)

上場証券取引所：東京証券取引所 市場第一部

株式の名義書換：(1)株主名簿管理人

東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

(2)同事務取扱所

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話：0120-78-2031(フリーダイヤル)

(3)同取次所

中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

【お知らせ】

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受け付けております。

最新のIR情報をウェブサイトにてお伝えしています

当社では、株主や投資家の皆様向けにIRサイトを設けております。最新の決算情報や株価情報のほか、IR関連の資料をまとめてご覧いただける「IRライブラリー」や皆様から寄せられたご質問と回答をまとめた「よくあるご質問」など、豊富なコンテンツで株主や投資家の皆様への情報を充実させております。どうぞお気軽にアクセスしてみてください。



<http://www.nabtesco.com/ir>